

まちの話題

2/13 (土) 会場を彩る名脇役

2月20日～3月7日に人形小路で開催された「人形小路雛めぐり」。イベント会場を彩ったもち花は、地域に住む皆さんの手づくりでした。お正月のもち花は赤と白の2色で作りますが、今回作ったもち花はお雛さまの菱餅と同じ色の、赤、白、緑。春めいた色のもち花が、菜の花と共に会場へ春の風を運んでくれました。



2/16 (火) 第5回飾り瓦コンクール作品展

2月16日～21日まで、かわら美術館で第5回飾り瓦コンクールの作品展が開催されました。ベテラン鬼師から美術学生までコンクールに出品されたすべての作品が展示され、来場者はその個性的な芸術を楽しんでいました。(写真はグランプリの逸見幸也作「魂」)



↑左：伝統技術優秀賞「GARUDA」(服部秋彦作)
右：現代陶芸優秀賞「ヒツジ」(横田千明作)

2/21 (日) エコステーション 好評開催中!

高浜エコハウスの1周年記念イベントとして始まったエコステーションも第4回を迎え、回を重ねるごとに盛大になっています。初めは70人ほどだった物品提供者も今では100人を越え、会場には数百品の品物が並びます。当日はお目当ての出品物を手に入れるために開場前から並ぶ姿も見られました。次回開催は5月1日(出)です。思わぬ掘り出し物が見つかるかも?



1/22 (金) かわらに残す 幼稚園の思い出

市内の瓦製造会社株式会社神仲で色とりどりに焼き上げられた瓦。第二慈恵幼稚園(安城市)で3月に卒園する園児が思い出をたっぷり込めて手形を押しました。瓦は幼稚園の新しい園舎の壁に飾られます。「卒園しても、自分の手形を見に来てほしい」と園長先生。市外や県外でも高浜の瓦が活躍しています。



2/3 (水) 行政相談ってどんなこと?



行政相談員や行政評価局の仕事に関心を持ってもらうため、高取小学校の6年生を対象に出前講座が開かれました。高浜市の行政相談員が講師となり、身近な事例を使って行政相談がどのようなものかを説明。「皆さんの近くに住んでいるので困ったことがあったら相談してくださいね」と呼びかけました。

2/12 (金) 毎月1日は ありがとうの日

普段はなかなか言えない「ありがとう」の言葉。毎月1日は「ありがとう」と声に出して、たくさん言いましょ。高浜市いきいきクラブ連合会が、浄土宗菩提山西居院の廣中邦充住職の提言を受け、毎月1日を「ありがとうの日」とすることを宣言しました。連合会の方々だけでなく、地域のすべての皆さんが「ありがとう」という言葉を口にして、あたたかい関係を築いていけるといいですね。

